GPS の測位精度—IV 三定点における測定

合田 政次, 久野 俊行, 中根 重勝, 趙 乙済*

Accuracies of Position Fixes Obtained by GPS-IV The Observation at Three Fixed Stations

Masaji Goda, Toshiyuki Kuno, Shigekatu Nakane and Eul Je Jo

ABSTRACT

We measured the usable time and took position fixes from three fixed stations in our country in order to evaluate the positioning accuracy of GPS, first, by the difference in the time of the year and, second, by the difference in location between the stations.

In the case of the former, the time zone of position fixes varied with the time of the year and there were a little differences of the accuracies of position fixes except 3H (three-dimensional high level positioning).

In the case of the latter, there were not obvious locality differences in 3D (three -dimensional positioning). But the positioning errors and number of data varied on each level in 2D (two-dimensional positioning), although the positioning errors were smaller than 0.1 nautical mile. The standard deviations of Dep. (departure) were larger than that of D. lat. (difference of latitude), and varied widely to the east and the west. But we observed that the standard deviations were smaller than 100 meters.

Key words: GPS global positioning system; 測位精度 accuracy of position fixes; 地域 差 locality difference

著者らは、これまで衛星航法システム GPS の陸 上定点(長崎)での測位精度について評価を行って きた^{1,2)}。その結果、二次元測位のLレベル(以下2 Lと記す)でも測位誤差(平均偏位±標準偏差)は 300m程度であり、大洋航行中の船舶の測位には十分 利用できるものであった。また、同一型式の受信機 間でも、受信する衛星の組み合わせが異なる場合と 同じ場合とがあり、前者の割合は全体の約28%をし め、平均位置間の距離も最大で約300mの差がみられ た。しかし、後者の場合にはほとんど差はみられず 受信機間の差はないものとみなせた³。

本研究では、長崎での時期の違いによる測位精度

の差,並びに国内の他の二定点での測定をもとに場 所の違いによる測位精度の差について検討を行った 結果について報告する。

測定方法および資料

測定は1988年1月13日~14日(以下C1と記す) と同年8月13日~15日(以下C8と記す)の2回, 長崎港柳ふ頭に係留中の本学部練習船長崎丸(1月 測定)および鶴洋丸(8月測定)で行った。また, 同年5月の長崎丸の練習航海における寄港地2港, 函館港(5月28日~30日)と浜田港(6月1日~2

	Latitude	Longitude
А	41°47.068′N	140°43.564′E
В	34°53.434′N	132°03.718′E
C 1	32°42.300′N	129°50.727′E
C 8	32°42.316′N	129°50.700′E

Table 1. Observation positions (WGS-84)

A: Hakodate; B: Hamada; C1: Nagasaki (Jan.)

C8: Nagasaki (Aug.)

日)においても実施した。各港での基準位置は両船 のアンテナ位置を海図から求めたものを測地系 WGS-84に変換⁴して用いた。各観測点の基準位置を Table 1 に示す。

使用した受信機は日本無線㈱製 JLR-4000であり, その性能については既に記述した¹⁾。

受信機の使用モードは、これまでと同様に航法 モード、最適衛星選択モードおよびLレベルモード に設定して全レベルについて測定を行った。

この間,受信機とパーソナルコンピュータ(NEC PC-9801)を接続し,受信機から出力されるデータを 1分間隔でフロッピーディスクに記録した。これら のデータを用いて測位精度の評価を行った。

結果および考察

1 測位時間

現段階では衛星数が7個のみであるため、1日の うち測位できる時間が限定される。各測点で二次元 測位(以下2Dと記す)および三次元測位(以下3 Dと記す)が可能であった時間(測位時間)につい て、各レベルごとの測位時間とその割合をTable2 に示す。

1.1 長崎における測位時間の時期による変化

3 Dと2 Dの測位時間はC1が約9時間,C8が 約6時間30分で,C1の方が約2時間30分長くなっ た。このように,8月の測位時間が1月より著しく 短かったのは,1月には衛星の数が7個であったが, 以前から不良といわれていた8号の衛星⁵⁰が,6月 初旬より受信できなくなって,衛星数が6個に減っ たためであると考えられる。しかし,2Dと3Dと の割合はC1が80%と20%であるが,C8では3D が5%減少している。このことは,8号衛星が不良 でもそれを受信して,3Dの測定がなされたことも あると考えられる。

レベル毎の割合は、2DのHレベル(以下2Hと 記す,他の場合も同様に記す)ではC8がC1より 5%減少し、2Mでは約10%増加している。しかし、

	2 D				3 D			Total					
		Н	М	L	Т	Н	М	L	Т	Н	М	L	Т
A	Time (h-m)	2 -25	2 -38	2 -07	7 -10	1 -08	0 -16	0 -15	1 -39	3 -33	2 -54	2 -22	8 -49
	Percentage (%)	27	30	24	81	13	3	3	19	40	33	27	100
В	Time (h-m)	2 -36	1 -10	2 -55	6 -41	1 -06	0 -35	0 -05	1 -46	3 -42	1 -45	3 -00	8 -27
	Percentage (%)	31	14	34	79	13	17	1	21	44	21	35	100
C 1	Time (h-m)	3 -24	1 -21	2 -29	7 -14	1 -21	0 -22	0 -06	1 -49	4 -45	1 -43	2 -35	9 -03
C I	Percentage (%)	38	15	27	80	15	4	1	20	53	19	28	100
<u> </u>	Time (h-m)	2 -12	1 -39	1 -48	5 - 39	0 -20	0 -26	0 -13	0 -59	2 -52	2 -05	2 -01	6 -38
	Percentage (%)	33	25	27	85	5	7	3	15	38	32	30	100

Table 2. The usable time and the ratio of each level on 2D and 3D

A: Hakodate; B: Hamada; C1: Nagasaki (Jan.); C8: Nagasaki (Aug.)

2D: two-dimensional positioning; 3D: three-dimensional positioning

H: high level; M: middle level; L: low level; T: total

and 3D								
Observation area	Date	2D (h-m)	3D (h-m)	Total (h-m)				
1	May 24	8 -15	0 -21	8 -36				
2	May 30	7 -06	1 -36	8 -42				
3	Jun. 3	6 -13	1 -54	8-07				

Table 3. The usable time of each level on 2D and 3D

1: off the coast of Sioyazaki

2: off the port of Akita

3: the vicinity of the Iki channel

2D: two-dimensional positioning

3D: three-dimensional positioning

2 Lではほぼ同じである。3 DでもC8のHレベル がC1より10%減少し、3 Mと3 Lは2~3%増加 している。全体ではLレベルはほぼ同じであるが、 MレベルではC1よりC8が13%増加している反面、 その分がHレベルで減少している。8号衛星は、水 晶発振器を使用していたから、発振器の安定度が低 く不良といわれていたが、それが受信不能となって からHレベルの比率が減少している。これは8号衛 星を含む測位結果が必ずしも低精度のものばかりで はなかったことを示している。

1.2 各測点での測位時間の比較

Table 2 に示したように函館(以下A点と記す)と 浜田(以下B点と記す)の両点では22分の差にすぎ ないが、C8点ではA点より2時間あまり少なく なっている。その原因としては前述したように8月 には8号の衛星が受信できず、衛星数の減少による ものである。Table3は、東京から函館、函館から日 本海沿岸を浜田を経て長崎まで航行する間の各1日 間の測位時間を表わしたもので、各海域と陸上定点 を総合してみると、緯度が高くなれば測位時間が長 くなる傾向がみられる。これは現段階では、衛星数 が少なく各軌道上の配置がアンバランス⁶⁰であるこ とによるものである。

2 測位精度

A点とC8点における1日分と2日分の測位結果 を比較したものをTable4に示す。その結果,両測 点ともデータ数の多少にかかわらず,東西距に10数 メートルの差がみられるほかは,いずれも数メート ルの差にすぎない。従って,各測点とも1日分のデー タについて,基準位置からの変緯(以下D.latと記 す),東西距(以下Depと記す)の平均値および標準 偏差を求めた。

D. lat または Dep のいずれかが標準偏差の 3 倍 (3σ) 以上であったデータは棄却したが,各測点に おける棄却されたデータ数とその比率を Table 5 に 示す。各測点とも比率は 2 ~ 5 %で,その大きさは 0.1海里以上であり,棄却されたデータのうち最大値 は1.4海里であった。

 Table 4.
 Comparison between the data of one day's measurement and those of two days' measurement in Hakodate and Nagasaki (unit in meter)

		Dimension	No. of	D.	lat	De	ep
		Dimension	Date	Mean	SD	Mean	SD
	1	2 D 3 D	421 99	$-7.3 \\ -0.9$	$\frac{35.7}{16.4}$	$\begin{array}{c} 35.0\\ 44.1 \end{array}$	$\begin{array}{c} 67.0 \\ 18.6 \end{array}$
۸		Total	520	-6.0	32.9	36.7	60.9
А	2	2 D 3 D	868 176	$-11.8 \\ 0.9$	39.4 13.9	$19.6\\32.6$	68.7 22.8
		Total	1,044	-9.7	36.7	21.8	63.5
	1	2 D 3 D	333 54	$\begin{array}{c} 12.7\\ 45.7\end{array}$	$\begin{array}{c} 43.6\\ 16.3 \end{array}$	$-4.3 \\ -8.9$	64.1 39.8
C 0		Total	387	17.3	42.4	-4.9	61.2
Cð	2	2 D 3 D	687 95	$\begin{array}{c} 10.4 \\ 51.5 \end{array}$	$51.2\\16.5$	$-12.7 \\ -10.7$	77.5 39.4
		Total	782	15.4	50.2	-12.4	74.0

A: Hakodate; C8: Nagasaki (Aug.)

1: one day's measurement; 2: two days' measurement; SD: standard deviation

	Domonsion	Ň	No. of Data					
	Demension	Total Rejected		Used	(%)			
	2 D	430	9	421	2			
Α	3 D	99	0	99	0			
	Total	529	9	520	2			
В	2 D	401	12	389	3			
	3 D	106	2	104	2			
	Total	507	14	493	3			
	2 D	434	26	408	6			
C 1	3 D	109	0	109	0			
	Total	543	26	517	5			
	2 D	339	6	333	2			
C 8	3 D	59	5	54	8			
	Total	398	11	387	3			

Table 5. The number of data and the ratio rejected by over 3σ in four different observation positions

A: Hakodate; B: Hamada; C1: Nagasaki (Jan.)

C8: Nagasaki (Aug.)

2D: two-dimensional positioning

3D: three-dimensional positioning

 C1点とC8点における測位精度(C点に おける異なる時期の測位精度)

2Dと3Dのレベル毎のデータ数とD. lat と Depの平均値及び標準偏差を示したものが Table 6 である。また,観測点を原点として各レベルの平均 位置と,その点を中心とする1σの誤差楕円を図示し たものが Fig.1 である。平均位置は2HのC1では ENE 方向に約94m, C 8 は NNE 方向に約31m, 3 Hではほぼ等距離ながらC1ではNE, C8は NNW へ偏位している。2Mでは両点ともほぼ東偏 しているが距離に差があり、C1の約147mに対しC 8 では約21mである。3 Mでは2 Hとほぼ同様な傾 向を示している。また、2LではC1が東偏し、C 8は反対に西偏しているが、3Lではともに北偏の 傾向がみられる。C1では3L以外はDepの方が D. lat より大きく, C 8 では 2 M, 2 L を除けば D. latの方が大きい。偏位距離は3Hでは両測点ともほ ぼ同じであるが、それ以外ではいずれもC1の方が 著しく大きい。

標準偏差についてC1とC8比較すると,いずれ

	D:	T1	No. of	D. lat		De	ep	Dista	ance
	Dimension	Level	Data	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD
		Н	197	33.7	55.8	88.0	46.2	94.2	72.4
		Μ	77	6.4	127.2	146.6	148.2	146.7	195.3
	Z D	L	134	79.0	149.3	124.6	181.7	147.5	235.2
		Total	408	43.4	111.9	111.1	128.4	119.3	170.3
C 1		Н	81	26.7	22.2	43.5	30.0	51.0	37.3
	3 D	Μ	22	55.2	24.0	59.1	51.7	80.9	57.0
		L	6	76.6	51.9	42.1	135.8	87.4	145.4
		Total	109	35.2	28.8	46.6	45.6	58.4	53.9
	Total		517	41.7	100.3	97.5	118.9	106.0	155.6
	2 D	H	132	29.6	21.8	8.8	30.4	30.9	37.4
		Μ	98	-2.1	49.7	21.1	71.7	21.2	87.2
		L	103	5.2	50.8	-45.3	68.9	45.6	85.6
		Total	333	12.7	43.6	-4.3	64.1	13.4	77.5
C 8		Н	20	44.7	5.7	-27.1	12.7	52.3	13.9
		М	26	44.0	18.5	2.5	25.5	44.1	31.5
	3 D	L	8	53.6	24.9	-0.5	87.7	53.6	91.2
		Total	54	45.7	16.3	-8.9	39.8	46.6	43.0
	Total		387	17.3	42.4	-4.9	61.2	18.0	74.5

Table 6.The mean values and standard deviations of D. lat, Dep and Distance for each level on 2D and 3D
(unit in meter)

C1: Nagasaki (Jan.); C8: Nagasaki (Aug.)

H: high; M: middle; L: low; SD: standard deviation

もC1の方が大きく,ほぼ2倍に及んでいる。また, C1の2Hを除けば両点ともDepの標準偏差の方 がD.latのそれよりも大きく,全般に東西方向のば らつきが著しい。

測位誤差は、C1では3H、3Mおよび2Hで88 ~167mの範囲であり、いずれも0.1海里未満である が、その他は2Lが最大で約383mにおよんでいる。 しかし、C8の場合は3H、3Mおよび2Hともに 約70mにすぎず、最大の3Lでも約145mであり、い ずれも0.1海里未満である。

このようにほぼ同一定点においても、時期の違い により測位誤差に大きな変化がみられたことについ て検討するため、両測点で共通する組み合せの各衛 星の軌跡と測位時間を調べたものが Fig. 2, 3 であ



る。両測点間で測位時間帯に大きな差があり、C1 ではすべて昼間(6時~17時)であるのに対し, C 8では夕方と夜間である。しかし、その間の衛星の 高度と方位角にはほとんど差がない。また測位に用 いられた衛星の組み合せについて、データ数の多い ものの測位誤差を求めたのが Table 7 である。一例 として2Dの3・6・13のHレベル, 6・9・12のM, Lレベルおよび3Dの3・6・9・12の各レベルによ る測位時間帯のほぼ中間を取り、各衛星の配置を示 したものが Fig. 4~7 である。これらの結果から, 衛 星の組み合せが同じ場合の配置に差は無く、測位結 果に影響する原因として考えられるのは、測定時刻 が昼間か夜間かということのみである。従って, C 1での測定では昼間のため電離層の電子密度が高く, 電波の伝搬経路上の屈折が大きくなることが主因と 考えられる。しかし、この点については、更に周年 にわたる定点測定を行い,確認する必要がある。

 2.2 三定点における測位精度の比較 前項と同様に、2Dと3Dのレベル毎のデータ数



0 100 200 300 400 500 (m)

- Fig. 1. The mean position and error ellipses (1σ) .
 - 2D:two-dimensional positioning 3D:three-dimensional positioning
 - H: high level; M: middle level; L: low level
 - Cl: Nagasaki (Jan. 1988); C8: Nagasaki (Aug. 1988)
 - \oplus : observation position







Fig. 3. The tracks and the usable time of each satellite in Nagasaki (Aug.). Arabic numerals (3, 6, 9, 12, 13) show satellite numbers. Center of the circle is zenith.





Center of the circle is zenith.



Fig. 5. The arrangement of combinations of satellites for each level on 2D.
C8: Nagasaki (Aug. 1988)
H: high level; M: middle level; L: low level
Each number shows satellite number.
Center of the circle is zenith.



Fig. 6. The arrangement of combinations of satellites for each level on 3D.
Cl: Nagasaki (Jan. 1988)
H: high level; M: middle level; L: low level

Each number shows satellite number. Center of the circle is zenith.

	D' '	T 1	Combination	No. of	D.	D. lat		p	Distance	
	Dimension	Level	Satellite No.	Date	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD
		High	$3 \cdot 6 \cdot 13$ $3 \cdot 6 \cdot 9$	88 29	59.2 53.1	56.8 36.0	$59.1 \\ 98.2$	$\begin{array}{c} 33.1 \\ 45.7 \end{array}$	83.7 111.6	$\begin{array}{c} 65.7 \\ 58.2 \end{array}$
	2 D	Middle	$6 \cdot 9 \cdot 12 \\ 3 \cdot 11 \cdot 13$	26 12	$\begin{array}{c} 37.6 \\ -51.5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 58.6 \\ 41.4 \end{array}$	$\begin{array}{c} 161.9 \\ -94.3 \end{array}$	$\begin{array}{c} 146.9\\72.8\end{array}$	$\frac{166.2}{107.4}$	$\frac{158.2}{83.7}$
C 1		Low	$6 \cdot 9 \cdot 12 \\ 3 \cdot 11 \cdot 13$	48 29	34.9 -72.7	$53.2 \\ 63.0$	$\begin{array}{c} 124.5 \\ -99.0 \end{array}$	$\frac{155.7}{113.8}$	$\frac{129.3}{122.8}$	164.5 130.1
		High	$3 \cdot 6 \cdot 9 \cdot 12$	9	43.6	18.8	62.0	35.5	75.8	40.2
	3 D	Middle	$3 \cdot 6 \cdot 9 \cdot 12$	22	55.2	24.0	59.1	51.7	80.9	57.0
		Low	$3 \cdot 6 \cdot 9 \cdot 12$	6	76.6	51.9	42.1	135.8	87.4	145.4
		High	$3 \cdot 6 \cdot 13$ $3 \cdot 6 \cdot 9$	59 38	$\begin{array}{c} 15.9 \\ 57.0 \end{array}$	9.6 8.6	$\begin{array}{c}-12.2\\0.2\end{array}$	$\begin{array}{c} 12.0 \\ 5.9 \end{array}$	20.0 57.0	$15.4\\10.4$
	2 D	Middle	$6 \cdot 9 \cdot 12 \\ 3 \cdot 11 \cdot 13$	30 11	$\begin{array}{c} 58.0 \\ -38.3 \end{array}$	$\begin{array}{c} 12.7 \\ 9.2 \end{array}$	$-15.1 \\ -113.9$	$\begin{array}{c} 40.6\\ 20.1 \end{array}$	59.9 120.2	$\begin{array}{c} 42.5 \\ 22.1 \end{array}$
C 8		Low	$6 \cdot 9 \cdot 12 \\ 3 \cdot 11 \cdot 13$	50 41	$\begin{array}{c} 48.2 \\ -50.1 \end{array}$	$\begin{array}{c} 20.1 \\ 22.7 \end{array}$	$\begin{array}{c} -5.3 \\ -110.1 \end{array}$	48.9 34.6	$\begin{array}{c} 48.5 \\ 121.0 \end{array}$	$52.9\\41.4$
		High	$3 \cdot 6 \cdot 9 \cdot 12$	7	47.8	2.0	-15.7	5.9	50.3	6.2
	3 D	Middle	$3 \cdot 6 \cdot 9 \cdot 12$	21	51.3	6.3	0.4	28.1	51.3	28.8
		Low	$3 \cdot 6 \cdot 9 \cdot 12$	4	62.0	34.1	-4.2	133.8	62.1	138.1

Table 7. The mean values and standard deviations on D. lat, Dep and Distance by combinations of satellites for each level on 2D and 3D (unit in meter)

C1: Nagasaki (Jan.); C8: Nagasaki (Aug.); SD: standard deviation



Fig. 7. The arrangement of combinations of satellites for each level on 3D.
C8: Nagasaki (Aug. 1988)
H: high level; M: middle level; L: low level
Each number shows satellite number.
Center of the circle is zenith.



H: high level; M: middle level; L: low level

A: Hakodate; B: Hamada; C: Nagasaki ⊕: observation position と D. lat と Dep の平均値および標準偏差を Table 8 に示した。また、各観測点を原点として、各レベル の平均位置とその点を中心とする1 σ の誤差楕円を 図示したものが Fig. 8 である。なお、長崎では 2 回 の測定を行ったが、測定時期がA、B両点でのそれ に近い 8 月の測定をC点の結果とした。

各測点の次元別,レベル別の平均偏位と標準偏差 を個々に見ると,条件によってばらつきはあるが, 全般的には次のような傾向がみられる。

 A, B両点では平均位置が ENE~SE へ約30 ~50m偏位し、C点では 3 Dの場合には他の点より データ数が少なくなり、NNW~NNE 方向へ同程度 偏位する傾向がみられる。これは、6月初旬より8 号衛星の信号を受信できなくなったことが影響して いるものと考えられる。

(2) 各測点とも、同じレベルで比べると Dep の標準
 偏差は 2 Dが 3 Dの 2 倍またはそれ以上であるが、

D. lat の標準偏差は50m以下であり、南北方向のば らつきは小さい。

(3) 全般的には Dep の標準偏差の方が D. lat のそ れよりも大きく,東西方向にばらつき,誤差楕円は 横長の形状を示している。しかし,最も大きい B 点 の2 D の場合でも Dep の標準偏差は100m以下であ る。マクロな見方をすれば,いずれの場合も68%誤

Table 8.The mean values and standard deviations of D. lat, Dep and Distance for each level on 2D and 3D
(unit in meter)

	Dimension	Loval	No. of	D. 1	D. lat		p	Distance		
	Dimension	Level	Data	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	
		Н	143	12.0	19.6	38.6	48.5	40.4	52.3	
	0 D	Μ	156	-18.3	25.3	7.8	50.5	19.9	56.5	
	2 D	L	122	-15.7	49.8	65.5	87.5	67.5	100.7	
		Total	421	-7.3	35.7	35.0	67.0	35.8	75.9	
А		Н	68	-3.0	12.4	44.5	11.2	44.6	16.7	
	9 D	Μ	16	3.3	19.0	31.5	25.7	31.7	32.0	
	3 D	L	15	4.2	26.2	55.4	28.3	55.5	38.6	
		Total	99	-0.9	16.4	44.1	18.6	44.1	24.8	
	Total		520	-6.0	32.9	36.7	60.9	37.2	69.2	
		Н	156	-2.0	30.4	55.2	55.5	55.2	63.3	
	2 D	М	58	-20.9	38.9	18.4	96.7	27.8	104.2	
		L	175	-26.7	34.1	26.0	92.4	37.3	98.5	
		Total	389	-15.9	35.3	36.6	81.7	39.9	89.0	
В	3 D	Н	66	-12.3	15.5	34.3	12.6	36.4	20.0	
		Μ	34	16.1	21.5	7.1	39.6	17.6	45.1	
		L	4	-6.6	38.7	23.5	6.6	24.4	39.3	
		Total	104	-2.8	22.8	25.0	27.7	25.2	35.9	
	Total		493	-13.2	33.5	34.1	73.8	36.6	81.0	
		Н	132	29.6	21.8	8.8	30.4	30.9	37.4	
	A D	Μ	98	-2.1	49.7	21.1	71.7	21.2	87.2	
	2 D	L	103	5.2	50.8	-45.3	68.9	45.6	85.6	
		Total	333	12.7	43.6	-4.3	64.1	13.4	77.5	
С		Н	20	44.7	5.7	-27.1	12.7	52.3	13.9	
		Μ	26	44.0	18.5	2.5	25.5	44.1	31.5	
	3 D	L	8	53.6	24.9	-0.5	87.7	53.6	91.2	
		Total	54	45.7	16.3	-8.9	39.8	46.6	43.0	
	Total		387	17.3	42.4	-4.9	61.2	18.0	74.5	

A: Hakodate; B: Hamada; C: Nagasaki

H: high; M: middle; L: low; SD: standard deviation

差界は長半径が0.1海里以下の楕円となる。

(4) 3 Dの測位精度には明らかな地域差は認められないが、2 Dでは測点によって2 Mや2 Lのデータ数に著しい差がある。これは、地理位置の変化により、同じ組み合せでも僅かながら高度と方位角に差があり、PDOP値が変化することによるものと考えられる。

まとめ

長崎における1月と8月のほぼ同じ定点での測定 と、函館および浜田において測定を行った結果、1 日の測位時間は函館では約8時間50分、浜田では約 8時間30分、そして長崎では1月が約9時間、8月 が約6時間30分で、8月には1月より約2時間半減 少している。これは受信できた衛星数は6月までは 7個であったが、長崎での8月の測定では8号衛星 の信号が受信できなくなって、衛星数が6個に減っ たためである。

各測点で多少の差がでたのは,全体の衛星数が少 ないことと軌道上の配置の関係で,測点の緯度と測 定時期により測定可能な時間が変化し,さらに測点 の地形による影響を受けるためと考えられる。

今回試験的に高安定発振器を装着して、2衛星に よる二次元の測位を行ったが、Hレベルでは2Lと ほぼ同じ精度であったので、これを利用すれば測位 時間は約3時間半長くなる。なお、2衛星による測 位精度の評価は今後の課題としたい。

長崎における1月と8月の測定結果は、3H以外 の各レベルでは、いずれも1月の測定の方が測位誤 差が大きく、測定時刻の違いによる電離層の電子密 度の相違が影響するものと考えられる。

3 Dでは各測点ともほぼ同程度の誤差で,顕著な 地域差は認められなかった。2 Dでは各レベルとも 測位誤差は0.1海里以下であったが,その大きさや データ数にはかなりの変動が見られ,定性的な傾向 は把握できなかった。

従って今後の課題として、定期的に数個所の測点 で測定を行い、時期による精度の変化や PDOP 値と 衛星の配置による測位誤差の傾向などを確認するこ とが必要である。

本研究にあたり,測定に御協力いただいた長崎丸 船長矢田殖朗教授,並びに鶴洋丸船長秋重祐章助教 授および両船の乗組員各位に深甚の謝意を表する。

参考文献

- 2)合田政次 他2名(1988):GPSの測位精度 -II,二定点における同時測定,本誌63,55-63
- 3) 久野俊行 他3名(1988):GPSの測位精度 -III, 同型受信機による同時測定,本誌64,17 -22
- 木村小一(1988):船の科学,1,104-108, 東京,船舶技術協会
- 5) 木村小一(1987) :造船技術, 5, 41-79, 東京, ㈱ジャパン・インダストリアル・パブリシ ング
- 6)日本測地学会編(1986):GPS—人工衛星による精密測位システム—,69-88,東京,日本測量協会